



こんにちは!

市議員 井坂博文 です



連絡先/日本共産党北地区委員会：京都市北区紫野雲林院町 78 / 電話 432-3261 / FAX441-4968

市長が付度しているのではないかと

宛名シールの提供はやめよ

2月市会
代表質問

① 自衛隊への宛名シール提供

「安倍首相が自衛官募集業務への自治体の協力を改憲理由にしていることに、市長が付度して、全国でも突出して積極的に協力しているのではないかと指摘すると、市長は答弁に立たず、副市長が「募集協力は、自衛隊法に定められている事務」「自治体の9割が協力しており、京都市が突出しているものでもない」と、首相の改憲の狙いには触れず無責任な答弁に終始。そこで、戦争中に住民を戦時体制に駆り立てる役割を担った自治体と職員の過ちを紹介し、「この過ちを二

度とくりかえしてはならない」と指摘し、「その反省の上につくられた憲法と地方自治法を堅持して、宛名シールという愚かしい行為をやめるよう」求めた。

さらに、反対の声に押されて「利用停止請求が行われた場合は、宛名シールから外す」と京都市の方針がホームページで発表されたことを受けて、「2万8千人全員にそのことを連絡すべき。それとともに宛名シール提供をきっぱりやめるべき」と求めた。答弁は「入隊勧奨の目的に沿わないので外す」というものの全員に連絡することは拒否。どこが「市民が主役」の市政運営なんだ!

② 職員の削減と雇止めを強行

市長がこの3年間で390人の職員を区役所から減らし、今後税部門すべての216人を集約化し、さらに区役所窓口の民間委託を進める計画。市が行った市民アンケートをグ



ラフにして「そうになると区役所で相談できなくなる」「このままでは区役所が区役所でなくなる」と告発し、集約化した職員を区役所に戻し、窓口業務の民間委託化方針の撤回を求めた。あわせて、介護保険の認定給付業務を担ってきた130人の嘱託職員を雇止め方針の撤回も強く求めた。

これに対する市長の答弁は「必要などころに人員を当てている」「各区でばらばらにやっていたものを一方所にまとめて知識やノウハウを全市で共有、蓄積できる」として、その表れが「市税徴収率は全国トップ水準」と言う。リストラを誇り、市民の暮らしの願いに背を向ける答弁。

③ 消費税増税を容認する市長

増税の根拠が総崩れの消費税増税に対する市長に認識を問うと、「景気は緩やかに改善しており、増税の前提が崩れているとは考えない」と国の方針いいなり、増税を当然視する答弁。さらに、市民生活や京都経済の現状からみて手数料や公料金への転嫁をやめるよう求めたが「ルールに基づ

嵐電白梅町駅が改修される!

来年度予算案に、白梅町駅のバリアフリー化が入った。事業主体は京福電鉄であるが、京都市がバリアフリー補助金を加えるもの。その結果、「割れた窓ガラス」は全面改修されることになる。やったー!! 住民と利用者の700名の署名が大きな力になった。さらに使い勝手のいい駅舎になるよ



うに声を集めて、京福と京都市にぶつきたい。

最後の関西広域連合議会定例会

3月定例会が開かれ、最後に討論に立った。反対討論だからいつもなら静かに終わるのだが、今日は拍手が起り、連合長から握手を求められた。4年間を通して親しくなった議員の方とも4月の選挙へのエール



交換をして別れた。

き転嫁する」と平然と答弁。「市民生活に負担と迷惑をかけるのは申し訳ない」の一言もないんかい! 質問が終わって先日のように参加され、宛名シール問題に怒っていた北区の方が傍聴に来た帰りに控え室に。「初めて傍聴に来た。いい質問だった」と激励していただいた。